



# 小さなチェンバロ & オカリナ コンサート

2014 9.27(土)

16:30 OPEN 17:00 START

\*2500円(ケーキセット付き)

会場 サリーガーデン



## サリーの庭だより

その34

14.8.22

### サリーガーデン 夏の思い出



## 古楽器奏者 haru (渡辺敏晴)

東京芸術大学音楽学部楽理科およびノルウェー国立音楽大学卒。

車にチェンバロを積んで全国各地へ演奏を届ける活動を展開中。

ペンダントオカリナ、イタリアンチェンバロを製作している。

岐阜市加子母在住。

■主催・お問合せ アトリエ玉手箱

TEL 0573-79-3681 <http://tebako.jp>

■ご予約はサリーガーデンまで

TEL 097-542-4446

10/3(金)~10/9(木)

トライバルラグとキリムの専門店

**karakoram**  
Karakoram  
Tribal Rugs and Kilims

ギャベ&キリム展示会

場所:サリーガーデン特設会場



サリーガーデン 大分市下京方1472-1 TEL 097-542-4446

湯治柳屋 別府市鉄輪井田2組 TEL 0977-66-4414



## Vol.8 陰と陽

2014.7.30 - 11.16

型紙を日にかざして見た時、絵が光を透せば「陽」の型と言ひ、逆に絵が影絵のように見えたらその型を「陰」と言う。前者を地染め型、後者を地白型、と呼べばわかりやすい。

両者についての私の姿勢は、まず地染め型は極力一色のみで絵を染め抜くこと。説明に堕ちず、型紙の力に頼り切ること。そのうえ布や和紙の肌と相俟って 空気感から詩格まで醸しだせるように。染め抜かれた形は空洞ではなく、命の漲る形であるように。そして、陰の地白型。これは迂闊に染めたら切り絵になる。そこで型紙の直な力をほどくために色を染め分け、ぼかしを施し、型紙から受けついだ力に表情を与えていく。つまり描く心で向き合うわけだがこの場合にも選ぶ色はわずかなものに限られる。どうも色は私にとって、絵の衣服であるよりも、躰そのものの彩りであるようだ。

いずれの仕事も基本は型彫り。いざその時は放たれた矢のように迷わない。

平成二十六年七月二十六日 望月通陽